



普通高等教育“十一五”国家级规划教材

总主编

彭广陆 守屋三千代

本册主编

冷丽敏 丸山千歌

审订

孙宗光 阪田雪子

综合日语

综合日语

第二册 修订版



北京大学出版社
PEKING UNIVERSITY PRESS



普通高等教育“十一五”国家级规划教材



北京高等教育精品教材

BEIJING GAODENG JIAOYU JINGPIN JIAOCAI

综合日语

(修订版)

总主编 彭广陆 [日] 守屋三千代
副总主编 何琳 [日] 近藤安月子 姬野伴子
审订 孙宗光 [日] 阪田雪子



北京大学出版社
PEKING UNIVERSITY PRESS

图书在版编目(CIP)数据

综合日语第二册(修订版)/彭广陆,〔日〕守屋三千代总主编;冷丽敏,〔日〕丸山千歌主编. —北京:北京大学出版社,2010.3

(21世纪日语系列教材)

ISBN 978-7-301-16709-0

I. 综… II. ①彭…②守…③冷…④丸… III. 日语—教材 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2010)第 017523 号

书 名: 综合日语第二册(修订版)

著作责任者: 彭广陆 〔日〕守屋三千代 总主编 冷丽敏 〔日〕丸山千歌 主编

责任编辑: 兰 婷

标准书号: ISBN 978-7-301-16709-0/H·2422

出版发行: 北京大学出版社

地 址: 北京市海淀区成府路 205 号 100871

网 址: <http://www.pup.cn>

电 话: 邮购部 62752015 发行部 62750672 编辑部 62767347 出版部 62754962

电子信箱: lanting371@163.com

印 刷 者: 北京飞达印刷有限责任公司

经 销 者: 新华书店

787 毫米×1092 毫米 16 开本 25.75 印张 500 千字

2005 年 1 月第 1 版

2010 年 3 月第 2 版 2010 年 3 月第 1 次印刷(总第 10 次印刷)

定 价: 47.00 元(附赠光盘)

未经许可,不得以任何方式复制或抄袭本书之部分或全部内容。

版权所有,侵权必究

举报电话: (010)62752024 电子信箱: fd@pup.pku.edu.cn

《综合日语》中方编委会成员：

主任：彭广陆（北京大学教授）

顾问：孙宗光（原北京大学教授、原广岛女学院大学教授）

（以汉语拼音为序）

何琳（首都师范大学副教授）

冷丽敏（北京师范大学副教授）

李奇楠（北京大学副教授）

孙佳音（北京语言大学讲师）

孙建军（北京大学副教授）

王轶群（中国人民大学大学讲师）

周彤（北京科技大学讲师）

《综合日语》日方编委会成员：

主任：守屋三千代（创价大学教授）

顾问：阪田雪子（原东京外国语大学教授）

（以日语五十音为序）

今井寿枝（国际交流基金关西国际中心日语教育专门员）

岩田一成（广岛市立大学讲师）

小泽伊久美（国际基督教大学讲师）

押尾和美（国际交流基金日语国际中心专任讲师）

国松昭（东京外国语大学名誉教授）

驹泽千鹤（国际关系学院日语专家）

近藤安月子（东京大学教授）

野畑理佳（国际交流基金关西国际中心日语教育专门员）

姬野伴子（明治大学教授）

丸山千歌（横滨国立大学准教授）

结城圭绘（大泉学园中学教谕）

插图：〔日〕高村郁子

本教材编写得到日本国际交流基金会的资助，特此鸣谢

修订版前言

《综合日语》(第1—4册)是第一套中日两国从事日语教学与研究的专家学者全面合作编写的面向中国大学日语专业基础阶段的主干教材,较之以往的教材,无论在内容还是在形式上均有不少突破。第一版自2004年8月陆续问世以来,以其显著的特点受到国内日语界的广泛关注和好评,许多高等院校的日语专业先后选用本教材。《综合日语》也因此获得了“2006年北京高等教育精品教材”的称号。

2006年《综合日语》被指定为“普通高等教育‘十一五’国家级规划教材”以后,我们旋即开始了修订工作。首先,中日双方的编委会都进行了适当的调整,新的编写队伍更加年轻化。在修订的过程中,广泛听取教材使用者的反馈意见,反复进行研究,最后确定的本次修订方针是:保持特色,弥补不足,使《综合日语》更加完善,更加实用。

修订版的《综合日语》保持了原教材的以下几个特色:

(1) 关注语言的功能和意义; (2) 关注语言使用的真实性; (3) 关注文化因素; (4) 关注故事情节; (5) 关注人物的个性; (6) 关注中国人的学习特点; (7) 重视学习过程; (8) 重视日语学科的专业性。

为了给《综合日语》的使用者提供最大限度的使用空间,使学习素材层次清晰,修订版基本保持了第一版的整体结构。第1、2册的会话和课文基本保持不变,重点对解说部分进行了修改,力求在准确的基础上更加简明易懂;练习部分也有很大程度的改善,基础练习与语法条目对应,会话练习的语境更加清晰,使其更具实用性。另外,根据学习的需要丰富了拓展练习,增加了一些供开展课堂活动使用的素材。修订后的练习更加充实、多样化,且更加具有针对性和可操作性。第3、4册的会话和课文将有一定的改动,篇幅上也有一定的删减。同时进一步完善练习和解说。

应许多教师的要求,我们将进一步充实配套的练习册和教师用书的内容,为学生提供更加有针对性的练习,为教师提供更多的教学上的具体建议,使《综合日语》更加便于使用。

总之,修订版的《综合日语》更加实用,特色更加突出。衷心地感谢广大读者对《综合日语》的厚爱,同时也希望《综合日语》能够拥有更多的读者。

《综合日语》修订版编辑委员会

2010年2月2日

主要出場人物



おう う しょう
王 宇翔

所 属：京華大学外国語学部日本語
学科 2 年
出 身：中国長春
趣 味：料理、スポーツ、旅行
性格など：人がよくて、まじめ。優
秀。将来は文化交流に関係
する仕事がしたい。
家 族：父・サラリーマン、母・医者。



たかはし み ほ
高橋 美穂

所 属：京華大学海外教育学院語学
研修生
出 身：日本東京
趣 味：演劇、映画、音楽
性格など：積極的。芸術学部演劇学科
に進学希望。中国演劇を勉
強したい。目の覚めるよう
な美人。
家 族：父・会社員、母・教師、祖
母、姉（百合子、婚約中）、
弟（信哉・高校生）



り とう
李 東

所 属：京華大学電子工学学部 2
年、日本語も勉強。
出 身：中国上海
趣 味：音楽、漫画、旅行
性格など：ゲーム制作が夢。おとぼけ
キャラ。



す ず き しんいち
鈴木 真一

所 属：京華大学歴史学部中国史学
科 2 年
出 身：日本北海道
趣 味：旅行、読書
性格など：おっちょこちょい。高橋の
高校の先輩。



ちょう えんえん
趙 媛媛

所 属：京華大学外国語学部日本語
専攻2年

出 身：中国アモイ

趣 味：読書、料理

性格など：おとなしい。親切。



やまだ かおり
山田 香織

所 属：京華大学経済学部中国経済
学科4年

出 身：日本熊本

趣 味：音楽、絵画

性格など：しっかり者。日中ビジネス
を目指す。遣唐使の会会長。



わたなべ みさき
渡辺 美咲

所 属：京華大学海外教育学院語学
研修生

出 身：日本名古屋

趣 味：音楽、文学、旅行

性格など：高橋の同級生でルームメー
ト。ちゃっかりしている。

缩略语、符号一览表

N——名詞（名词）

固名——固有名詞（专有名词）

A——形容詞（形容词）

A_I——I類形容詞（I类形容词）

A_{II}——II類形容詞（II类形容词）

V——動詞（动词）

V_I——I類動詞（I类动词）

V_{II}——II類動詞（II类动词）

V_{III}——III類動詞（III类动词）

V_る——動詞辞書形（动词词典形）

自——自動詞（自动词、不及物动词）

他——他動詞（他动词、及物动词）

副——副詞（副词）

連体——連體詞（连体词）

感——感動詞（叹词）

接——接續詞（连词）

判——判斷詞（判断词）

助——助詞（助词）

格助——格助詞（格助词）

取立て助——取立て助詞（凸显助词）

終助——終助詞（语气助词）

接助——接續助詞（接续助词）

並助——並列助詞（并列助词）

引助——引用助詞（引用助词）

準助——準體助詞（准体助词）

S——文（句子）

①①②③——声调符号（有两个声调者，常用者在前）

【】——本书的会话、课文中未采用，但实际上使用的书写形式。

▼ 非常用汉字

▽ 非常用汉字音训

目次

第16課	春節	1
	ユニット1 春節の習慣	2
	ユニット2 休暇中にしたこと	12
	ユニット3 日本の正月	21
第17課	コンサート	29
	ユニット1 コンサート	30
	ユニット2 遅刻	42
	ユニット3 ポップカルチャー	51
第18課	病気	57
	ユニット1 診察	58
	ユニット2 お見舞い	69
	ユニット3 高橋さんの日記：中国に来てから今までで いちばんうれしかったこと	79
第19課	黄砂	83
	ユニット1 日本での黄砂情報	84
	ユニット2 家族からの電話	93
	ユニット3 コミュニティー新聞への投書：黄砂体験	106
第20課	遠足	111
	ユニット1 遠足の計画	112
	ユニット2 遠足の日	121
	ユニット3 旅行のパンフレット：東京ツーリストなら、 お好きなプランをお選びになれます	128
第21課	遠足のあと	135
	ユニット1 遠足の写真	136
	ユニット2 イメージチェンジ	148
	ユニット3 お礼の手紙：先生へ	157

第22課	宝くじ	161
	ユニット1 宝くじに当たった人の話	162
	ユニット2 本末転倒	172
	ユニット3 「新入生へのアンケートから」 東西大学学生新聞	179
第23課	弁論大会	187
	ユニット1 弁論大会のポスター	188
	ユニット2 弁論大会出場への決意	197
	ユニット3 地震：李のスピーチの参考資料	202
第24課	留学試験の面接	207
	ユニット1 面接試験	208
	ユニット2 面接試験のあと	217
	ユニット3 インターネット掲示板：敬語の使われ方 について	225
第25課	ゴールデン・ウィーク	229
	ユニット1 高橋さんの一時帰国	230
	ユニット2 日本のゴールデン・ウィーク	238
	ユニット3 「Uターン就職：学生課に聞きました」： 東西大学新聞	246
第26課	ボランティア	251
	ユニット1 相談	252
	ユニット2 ボランティアの経験	261
	ユニット3 信哉のボランティア活動報告： 活動日誌から	269
第27課	受験	272
	ユニット1 母からの電話	273
	ユニット2 渡辺さんを励ます会	284
	ユニット3 インターネット掲示板：大学生の悩み 大学生の広場	293
第28課	ディスカッション	301
	ユニット1 日本語の授業	302
	ユニット2 クラスメートとの質疑応答	309
	ユニット3 国際社会のコミュニケーションとITの進歩： 南北新聞社説	315

第29課	アルバイト	323
	ユニット1 アルバイト探し	324
	ユニット2 会社への電話	333
	ユニット3 今から始める就職活動：大学生向け 雑誌の記事	340
第30課	旅立ち	344
	ユニット1 先生への挨拶	345
	ユニット2 別れ	354
	ユニット3 わたしと日本語	360
索引	新出単語・練習用単語	363
索引	解説・音声	385
索引	解説・語彙	387
索引	解説・文法	389
索引	解説・表現	394
后记		397
本教材语法系统简介		399
参考书目		400



第 16 課 春 節

学习目标

1. 说明做事情的方法和手段。
2. 讲述自己的经历。
3. 比较或说明文化、习惯等。

学习要点

ユニット 1

- | | |
|---|----------------------|
| ① Nによって(違う)〈基准〉 | ② へたりへたりする〈交替、反复、并列〉 |
| ③ どうやって～んですか〈方式〉 | ④ V方〈方法〉 |
| ⑤ A _I く～/A _{II} に～〈形容词做连用修饰语〉 | |
| ⑥ Vてから〈先后顺序〉 | ⑦ だけ+格助词〈限定〉 |

ユニット 2

- | | |
|---|----------------|
| ① Nの/Vているあいだに〈时点〉 | ② Vている(4)〈状态〉 |
| ③ Nの/Vているあいだ〈时段〉 | ④ Vたら～た〈契机～发现〉 |
| ⑤ N ₁ でN ₂ がある〈事件的存在〉 | ⑥ Vたりする〈示例〉 |

ユニット 3

- | | |
|------------------------|---------------|
| ① Nにとって〈评价的立场、角度〉 | ② (数量词)ほど〈概数〉 |
| ③ A _I く〈并列〉 | |

ユニット１ 会話

春節の習慣

(春節の休暇に王の家に行く)

高橋：春節の準備は、どんなことをするんですか。

王：地方によって違いますけど、うちではたいてい家族みんなで掃除をしたり春節の飾りつけをしたりするんですよ。料理は父が作るんです。

高橋：え、お父さんが？

王：ええ、おいしいんですよ。

父は料理が好きで、ふだんもよく作るんですよ。

高橋：そうですか。

王：ええ、それから、大みそかには家族みんなでギョーザを作って食べるんです。

高橋：どうやって作るんですか。

王：作り方は家庭によって違うんですけど、うちは、白菜やにらを細かく刻んで、豚のひき肉を入れて作るんです。そして、具をよくまぜてから皮に包んでゆでて食べるんです。

高橋：あ、水ギョーザですね。

王：ええ、でも、いつものギョーザと違って、春節のギョーザは一つだけにコインを入れるんです。

高橋：え、コインですか。

王：ええ。でも、もちろんきれいに洗ってから入れますよ。

高橋：コインは何か意味があるんですか。

王：コインが入ったギョーザは縁起がいいんです。今年是一緒に作りませんか。

高橋：ええ、ぜひ。王さんのお宅のギョーザはどんな味がするんでしょうね。あ、王さんのお宅では、わたしも中国語を話さなくてはいけませんね。

王：そうですね。父も母も日本語はわかりませんから。

高橋：ちょっと心配です。

王：大丈夫ですよ、わたしがいますから。



新出単語

休暇(きゅうか)①	<名>	休假; 放假
こと【事】②	<名>	事; 事情; (前接连体修饰语)表示所指内容
によって		根据; 通过; 由
たいてい①	<副>	基本上; 大都; 多半
～たり		～啦～啦; 又～又～(多以「～たり～たりする」的形式出现)
飾りつけ(かざりつけ)①	<名>	装饰; 点缀
ふだん①	<副・名>	平时; 平常
大みそか(おお晦日)③	<名>	除夕; 大年三十
どうやって①		如何; 怎样
作り方(つくりかた)①④	<名>	做法
-方(-かた)		～方法; ～方式
家庭(かてい)①	<名>	家庭
にら【韭】①	<名>	韭菜
細かい(こまかい)③	<形Ⅰ>	细小; 碎
刻む(きざむ)①	<他Ⅰ>	切碎; 刻; 印刻
豚(ぶた)①	<名>	猪
ひき肉(ひきにく)①	<名>	肉馅
具(ぐ)①	<名>	馅儿; 菜码
まぜる(混ぜる)②	<他Ⅱ>	搅拌; 和
～てから		～之后
包む(つつむ)②	<他Ⅰ>	包
ゆでる【茹でる】②	<他Ⅱ>	煮
水ギョーザ(すい餃子)③	<名>	水饺
コイン(coin)①	<名>	硬币
縁起(えんぎ)①	<名>	预兆; 吉凶之兆
お宅(おたく)①	<名>	您家; 府上(礼貌说法); 您
-宅(-たく)		～家
味(あじ)①	<名>	味道
心配(しんぱい)①	<名・形Ⅱ・他Ⅲ>	担心; 惦记

解説・音声

1. Nによって

前接词为平板型时,「によって」高读。

国①→くにによって

前接词为起伏型时,「によって」低读。

地方②→ちほうによって

2. Vたり

平板型:「Vたり」读成②型。

行く①→いったり

起伏型:「たり」低读。

読む①→よんだり

3. V方

无论动词为何种声调,「-方」一般读成平板型。

やる①→やりかた 作る②→つくりかた

4. Vてから

动词为平板型时,「Vてから」读成③型。

行く①→いってから

动词为起伏型时,「てから」低读。

読む①→よんでから

解説・語彙

Nがする

「Nがする」用来表示人的器官所感觉到的某种气味、味道、声音等。一般采用“が格”形式的名词前面要加连体修饰语。相当于汉语的“有~,觉得~”,有时不必译出。常用的表达有「声^{にお}がする(发出声音)、音がする(发出声响)、匂^{にお}いがする(散发气味)、味がする(有~味道)」等。例如:

(1) 王さんのお宅のギョーザはどんな味がするんでしょうね。

(2) 隣の部屋からコーヒーの匂^{にお}いがしました。

1. Nによって（違う）＜基準＞

「によって」接在名词后面，用于表示判断的依据或根据。这个句式表示“根据～（而不同）、因～（而异）”等意义。例如：

- (1) 春節の準備は地方によって違います。
- (2) ギョーザの作り方は家庭によって違います。
- (3) この単語は時代によって意味が違います。

2. ～たり～たりする＜交替、反复、并列＞

动词、形容词的“たり形”是将“た形”的「た」换成「たり」构成的，接名词时，采用“名词+だったり”的形式。

「～たり～たりする」用于示例性列举两个或两个以上的动作或状态（「たり」可以出现两个以上），也可以表示动作状态的反复、交替进行或出现。相当于汉语的“又～又～、有时～有时～、时而～时而～”。例如：

- (1) うちではたいい家族みんなで掃除をしたり、春節の飾りつけをしたりします。
- (2) 昨日は、レポートを書いたり、洗濯をしたりして、けっこう忙しかったです。
- (3) 変な人が店の前を行ったり来たりしています。
- (4) すいかの値段は高かったり、安かったりします。
- (5) 試験問題は先生によって簡単だったり難しかったりします。
- (6) 父の会社は休みの日が日曜日だったり、平日だったりします。

3. どうやって～んですか＜方式＞

「どうやって」在句子中做连用修饰语，主要用于询问进行动作的方式、方法或事件的过程等，句尾多为要求说明的「んですか」这种形式。相当于汉语的“怎么样、如何”等。例如：

- (1) ギョーザはどうやって作るんですか。
- (2) この食べ物は初めて見ました。どうやって食べるんですか。
- (3) すみませんが、駅まではどうやって行くんですか。
- (4) 李さんはどうやって日本語を勉強しているんですか。

4. V方＜方法＞

「方」前接动词的第一连用形，构成派生名词，表示动作的方式、方法。V的补语（“を格”等）要变成“の格”连体修饰语，即「NをV」变成「NのV方」。「する」变「V方」时一般用平假名书写为「しかた」（有时也可以写汉字，如「検索のし方」）。

(1) ギョーザの作り方は家庭によって違います。

- (2) 図書館への行き方を教えてください。
- (3) 高橋さんは北京ダックの食べ方を知りませんでした。
- (4) 旅行会社の検索のしかたを説明しました。

5. A_Iく～／A_{II}に～ <形容词做连用修饰语>

形容词做连用修饰语时，根据动词的意义不同，可以表示动作的结果（如例1-3）或动作进行的状态（如例4-6），这是形容词的副词性用法。例如：

- (1) ギョーザは白菜やにらを細かく刻んで、豚のひき肉を入れて作るんです。
- (2) コインはもちろんきれいに洗ってからギョーザに入れますよ。
- (3) あの歌手は髪を赤く染めました[染める：染]。
- (4) このドアは重い[重い：沉，重]から、強く[強く：使劲，用力]押してください。
- (5) 子供たちは庭で楽しく遊んでいます。
- (6) 病院では、静かに歩いてください。

6. Vてから <先后顺序>

动词的“て形”后面接上「から」，表示动作的先后顺序，即先做某件事，然后再做其它的事情，一般两件事情的先后顺序不能调换。相当于汉语的“先～再～、～之后（再）～”等。例如：

- (1) ギョーザは、具をよくまぜてから皮に包んでゆでて食べるんです。
- (2) コインはもちろんきれいに洗ってからギョーザに入れますよ。
- (3) A：急いで映画館に行きませんか。
B：いいえ、食事をしてから行きましょう。

7. だけ+格助词 <限定>

「だけ」可以用于名词与格助词之间，表示限定。本课出现的是「だけに」的形式，此外还可以使用「だけで」等。前面也已经讲过，「だけ」后接「が／を」时，「が／を」可以省略。

- (1) いつものギョーザと違って、春節のギョーザは一つだけにコインを入れるんです。
- (2) 子供は平仮名だけで作文を書きます。
- (3) 王さんだけ(が)日本に行きます。
- (4) うちのギョーザは白菜と豚肉だけ(を)入れます。

解説・表現

1. 语气助词「よ」(1)

用于说话人强调听话人所不了解的信息或没有注意到的信息。重复使用或使用次数